

「自然共生サイト」認定

令和5年度申請受付要領(後期)

- 申請受付期間

令和5年9月12日(火)～令和5年10月13日(金) 17:00

(受付数が審査可能上限(目安:50件程度)に達した場合、申請受付期間内であっても、令和5年度後期分としての受付を終了予定。)

この場合、同一申請者から複数件申請があった場合は1件としていただく予定)

- 問合せ先

令和5年度自然共生サイト認定運営事務局

連絡先:TEL : 03-6659-6781

MAIL: shizen_nintei@jwrc.or.jp

令和5年9月

I. 自然共生サイト認定の概要

1. 背景・目的

2022年12月に生物多様性条約第15回締約国会議(CBD-COP15)において、2030年までの新たな世界目標である「昆明・モントリオール生物多様性枠組」が採択されました。2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標(30by30目標)我が国では、世界目標を踏まえ、2023年3月に「生物多様性国家戦略」を改定し、2030年までに生物多様性の損失を止め、反転させる「ネイチャーポジティブ」や2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標(30by30目標)を国内目標として位置づけました。

そのような中、環境省では、「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を保護地域内外問わず「自然共生サイト」に認定することし、令和5年度からその認定を開始することとしました。そして、「自然共生サイト」認定区域のうち、保護地域との重複を除いた区域については、OECM(Other Effective area-based Conservation Measures:保護地域以外で生物多様性保全に資する区域)として国際データベースに登録することとしています。

「自然共生サイト」認定によって、保護地域内外問わず、当該サイトの生物多様性の価値の維持又は質の向上が促進され、ネイチャーポジティブの実現や30by30目標の達成に貢献するとともに、生物多様性保全の取組が広く波及していくことを期待しています。

II. 申請内容

1. 申請条件

申請者は、次の全ての条件を満たす者とします。

- (1) 申請するサイトの「統治責任者」若しくは「活動責任者」又は「当該区域を代表する者」であること。
- (2) 申請するサイトに関係するいずれの組織や団体・個人にも、暴力団若しくは暴力団員の統制の下にある団体又はこれらの構成員が含まれていないこと。

III. 自然共生サイトの認定

1. 自然共生サイトの審査

(1) 審査方法

自然共生サイト認定の審査に当たっては、申請受付期限までに申請のあったサイトについて、以下に示す「認定基準」及び「審査フロー」に従って実施します。

(2) 認定基準

認定基準は大きく次の4つから構成されています。詳細は別表1の通りです。

1. 境界・名称に関する基準
2. ガバナンスに関する基準

- 3. 生物多様性の価値に関する基準
- 4. 活動による保全効果に関する基準

(3) 審査フロー

① 事務局予備審査

事務局にて申請内容の予備審査を行います。

② 審査委員審査

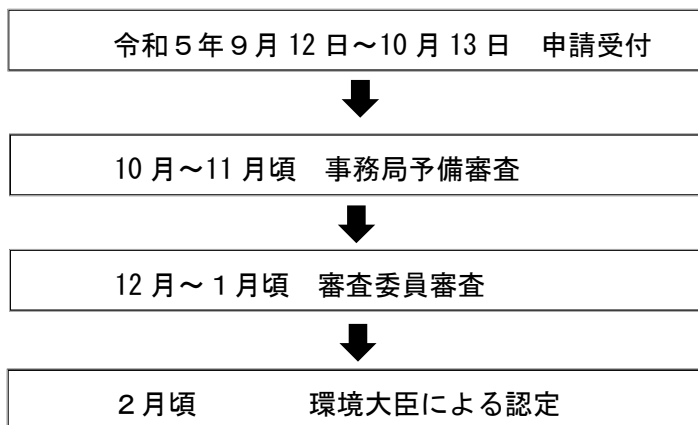
有識者で構成される審査委員にて、書面審査及び審査委員会の場での審査を行います。

③ 環境大臣による認定

審査委員会の結果を踏まえて、環境大臣が認定を行います。

なお、令和5年度後期分については、申請サポートや審査の効率化の観点から、東京都の「江戸のみどり登録緑地」とは事務局予備審査に関して、及び一般社団法人いきもの共生事業推進協議会(<https://www3.abinc.or.jp/>)の「ABINC 認証」とは事務局予備審査及び審査委員会審査に関しての連携を行います。「江戸のみどり登録緑地」に登録されている方や「ABINC 認証」を取得済又は取得予定の方で自然共生サイト認定の申請をご検討されている方は、事前にそれぞれ東京都やいきもの共生事業推進協議会に御相談されることをお勧めいたします。

【2023 年後期審査スケジュール(予定)】



ただし、審査案件数等によって、審査スケジュールは変更の可能性がありますので予め御了承ください。

2. 申請方法

【申請書類の提出方法】

電子データで提出してください。電子メールの表題を「自然共生サイトR5年度後期認定申請（申請者名）」として申請書の提出であることが分かるようにしてください。

なお、電子データの容量は全体で10MB以内に納めてください。（どうしても容量が10MBを超過

する場合は shizen_nintei@jwrc.or.jp までお問い合わせください。)

注: 電子データは、ウイルスチェックを確実に実施してください。

【提出先】

shizen_nintei@jwrc.or.jp

【申請受付期限】

令和5年 10月 13日(金) 17:00 迄

受付は申請順に行います。そのため、受付数が審査可能上限(目安:50件程度)に達した場合、同一申請者から複数件申請があった場合は1件とした上で、申請受付期間内であっても、令和5年度後期分としての受付を終了する予定です。その場合、令和6年度前期以降の審査になりますので、予め御了承ください。

【申請書類一式】 次の各書式を作成し、提出してください。

- 申請書(様式1、2)
- 添付書類(別表2を参照)

3. その他留意事項

- (1) 認定後は、特段の事情がない限り、認定された「自然共生サイト」の情報を環境省 WEB 等で公開します。自然共生サイトとして公開する情報については別紙1を御確認ください。
- (2) 認定後は、特段の事情がない限り、保護地域との重複を除いた区域を、OECM 国際データベースに環境省にて登録いたします。OECM 国際データベースに登録される情報については別紙1を御確認ください。
- (3) 認定後は、5年毎に認定の更新を行うことを予定しています。その際に、サイトの現況が分かる資料(モニタリング結果等)を提出いただくことを予定しています。

IV. 留意点

1. 申請について

- (1) 申請前セルフチェックシート(別紙2)を御活用ください。
- (2) 自然共生サイト認定基準(別表1)を御確認ください。
- (3) 必要となる「添付資料」が揃っているか御確認ください。
- (4) 「自然共生サイト認定申請書の記入例と解説」を参考にしながら御記入ください。

2. その他

(1) 秘密の保持

環境省は、提出された申請書について、公文書等の管理に関する法律に基づく行政文書の管理に関するガイドラインに沿い定められた関係規程により、厳重な管理の下、一定期間

保存します。この際、取得した個人情報その他秘匿情報(ただし、Ⅲ.3.(1)(2)で公開する情報を除く)については、法令等に基づく場合の提供を除き、審査のみに利用しますが、特定されない状態に加工した統計資料等に利用することがあります。

公開する情報には、

- ①「自然共生サイト」として公開する情報（環境省WEB等）
- ②WD-OECMに登録する情報

の2種類があります。

①「自然共生サイト」として公開する情報について



自然共生サイト認定を受けた区域の情報を、30by30アライアンスWEBページ等で公開します。

【公開予定項目】

1. サイトの名称
2. 申請者
3. サイトの場所・面積
4. 認定年
5. サイトの概要
6. 周辺の状況・土地利用の変遷
7. 生物多様性の概況
8. サイトの管理情報
9. サイトの写真

【任意項目】

1. 区域図
2. 土地所有者・管理責任者
3. 生物情報
4. アピールポイント

なお、申請者の事情に合わせて柔軟に対応したいと考えています。



【サイト毎の必須項目】

1. **サイトの名称**（英語および日本語）
2. **サイトの所在地**
（GISデータをもとにしたサイトの境界データ（ポリゴンデータ）を表示。
境界データが入手できない場合はサイトのポイントデータ）
3. **面積**
4. **認定年**

【任意項目】

5. **ガバナンス形態**（国・自治体・民間企業・NPOといった属性を登録）
6. **土地所有形態**（国・自治体・民間企業・NPOといった属性を登録）
7. **活動責任者の名称**
8. **活動計画のURL**
9. **補足情報**
10. **管理目的**（一次的保全、二次的保全、付随的保全 から選択）

自然共生サイト申請前の事前チェックシート

申請される前に簡単なセルフチェックをお願いいたします。

セルフチェック項目	はい	いいえ
申請 <u>区域</u> が <u>確定</u> していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
申請することについて、 <u>土地所有者・活動責任者の同意</u> を得ていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
申請区域が有する「 <u>生物多様性の価値</u> 」を <u>証明する資料</u> はありますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<u>活動計画</u> や <u>モニタリング計画</u> は定められていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- すべて「はい」の場合、申請書が受理される蓋然性が高いと考えられます。詳細は、「認定基準」及び「自然共生サイト認定申請書の記入例と解説」をご確認ください。
- 「いいえ」が一つでもあった場合、書類不足により申請書が受理されないと想定されます。今一度、「認定基準」及び「自然共生サイト認定申請書の記入例と解説」をご確認いただき、必要な資料が揃っているかご確認ください。